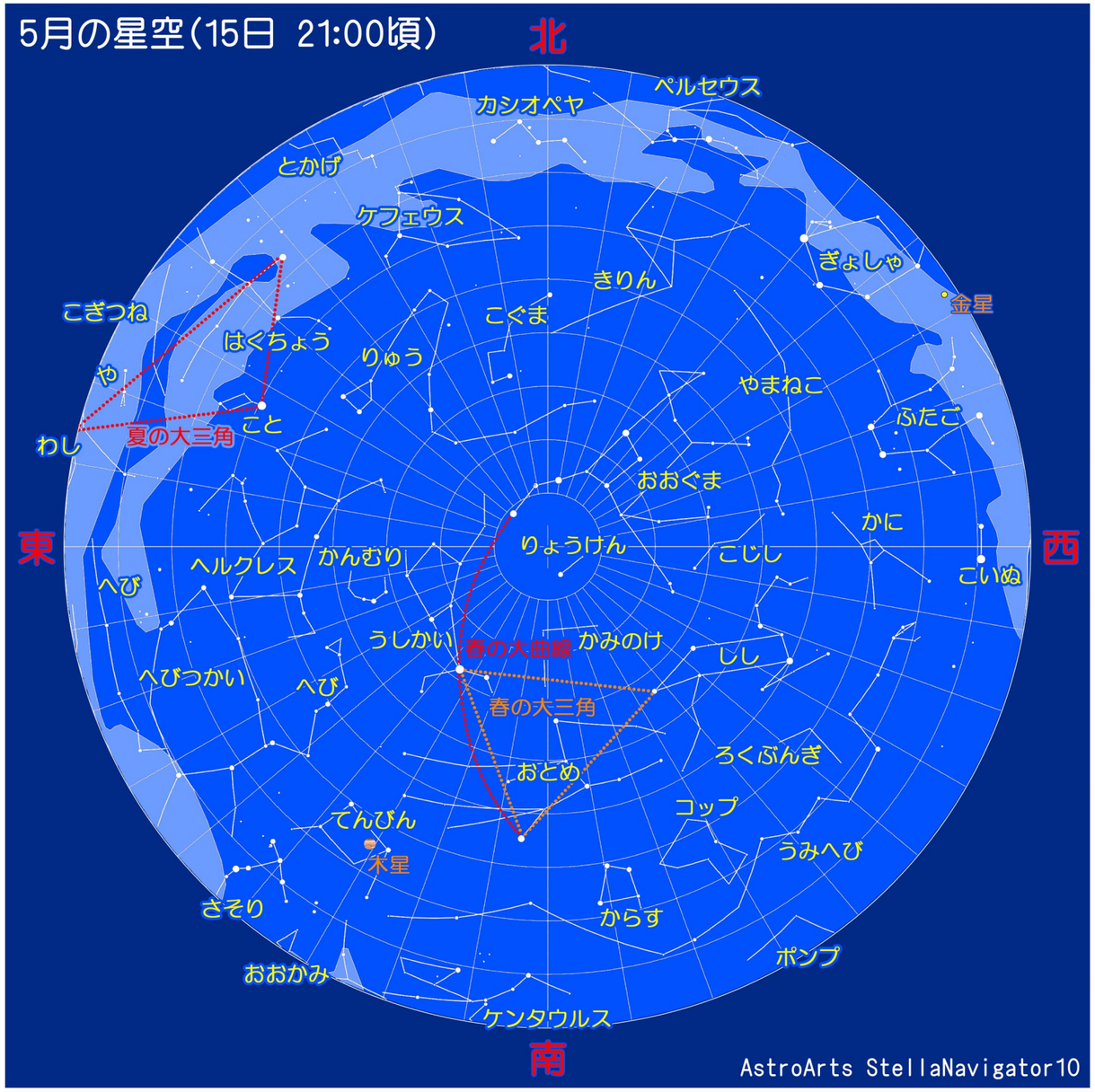
銀河の森天文台
2018年5月みどころ天体情報



今月のイチオシ！

☆M64

かみのけ座に位置する銀河で、中心近くにある暗黒帯が黒眼を連想させることから「黒眼銀河」と呼ばれています。

一見普通の渦巻銀河の様に見えますが、銀河の外側のガスが内側の星やガスとは反対方向に回転していることがわかっています。これは、過去に別の銀河が衝突し吸収されたことが原因と考えられています。

距離：約1600万光年

M64

月

		出	没
8日	◑下弦	00:29	10:38
15日	●新月	04:04	18:16
22日	◑上弦	10:44	00:14
29日	○満月	18:20	03:50

天文台から月を見ることができるのは1日頃と26～31日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

木星

太陽系で一番大きな惑星で、その直径は地球の約11倍にもなります。大赤斑と呼ばれる巨大な渦と、縞模様が特徴的です。ガリレオ衛星と呼ばれる、特に明るい衛星が４個あるので探してみましょう。

太陽からの距離：約7億8000万km

M51（銀河）

銀河の渦巻の腕の先に小さな銀河（NGC5195）を伴っていることから、子持ち銀河という愛称で呼ばれています。月明りのない夜には2つの銀河が実際につながている様子を見ることができます。

距離：約2100万光年

M13（球状星団）

北天で最も明るい球状星団で、位置さえ知っていれば双眼鏡でも簡単に見つけることができます。望遠鏡では、中心部まで星が密集した見事な姿を観察することができます。

距離：約2万5100光年

M3（球状星団）

明るい見事な球状星団でうしかい座のアルクトゥールスとりょうけん座のコル・カロリの中間あたりに位置しています。密集度が高いために、双眼鏡では恒星と区別がつきにくいかもしれません。

距離：約3万3900光年

M104（銀河）

形がソンブレロ帽子に似ている事から「ソンブレロ銀河」と呼ばれています。これまでは渦巻銀河を横から見たものと考えられていましたが、近年の観測から円盤状の構造を持つ楕円銀河であると考えられています。

距離：約4600万光年

アルギエバ（重星）

しし座の首のつけねのあたりに位置する星で、橙色の2.4等星と黄色3.6等星のペアの二重星です。実際に望遠鏡でのぞいてみると、橙色のほぼ同じ明るさの星のペアとして見ることができます。

距離：約126光年

ちょっとマニア

・かんむり座（星座）

うしかい座とヘルクレス座の間、星が半円形にならんでいるのが、かんむり座です。かんむり座の星たちはあまり明るくはないのですが、形がわかりやすく、意外と目を引き見つけやすい星座です。

その他おすすめ

- M53（球状星団）
- M97（惑星状星雲）
- スピカ（恒星）
- アルクトゥールス（恒星）
- かみのけ座24番星（重星）
- コル・カロリ（重星）

5・6月の銀河の森天文台カレンダー

5月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

6月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

開館時間

14:00～22:30
（4月～9月）

13:00～21:30
（10月～3月）

休館日